

北海道大学低温科学研究所共同研究集会

「ALMA を活用した原始惑星系円盤に関する研究の新展開」

主催：低温科学研究所（共同利用研究集会）

共催：科研費新学術領域研究「太陽系外惑星の新機軸：地球型惑星へ」

日時：平成 26 年 7 月 31 日（木）13:30–8 月 2 日（土）15:00

場所：北海道大学 低温科学研究所 講堂

<http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/access.html>

7 月 31 日（木）

- 13:30–13:35 開会の挨拶
- 13:35–13:40 低温科学研究所所長挨拶
- 13:40–14:00 実習 0（解析環境の確認）
- 14:00–14:30 武藤 恭之 「ALMA による HD142527 周囲の原始惑星系円盤観測のモデリング」
- 14:30–15:00 村川 幸史 「空隙を持つダスト成長した原始惑星系円盤の輻射輸送計算」
- 15:00–15:30 百瀬 宗武 「ALMA の成果のレビュー」
- 15:30–15:45 休憩
- 15:45–16:15 秋山 永治 「原始惑星系円盤外縁部領域の温度及び面密度分布」
- 16:15–16:55 ポスター講演（一人 5 分 x 6 + 質問時間 5 分 x2）
- 16:55–17:10 休憩
- 17:10–17:40 干渉計解析の基礎
- 17:40–18:30 ポスターセッション & 実習 0（解析環境の確認）
- 18:30 懇親会

8 月 1 日（金）

- 9:00– 9:30 塚越 崇 「遷移段階円盤 Sz91 の高分解能観測の現状と ALMA 観測への展望」
- 9:30–10:00 石本 大貴 「ALMA を用いた分子輝線観測 による円盤風の検出」
- 10:00–10:15 休憩
- 10:15–11:30 実習 1（マップ cube を用いたデータ解析）
- 11:30–13:00 昼食
- 13:00–15:30 実習 1（マップ cube を用いたデータ解析）
- 15:30–15:45 休憩
- 15:45–16:15 村主 崇行 「原始惑星系円盤雷のイオン輝線観測」
- 16:15–16:45 片岡 章雅 「ダストアグリゲイト低密度化の観測的実証に向けて」
- 16:45–17:15 小林 浩 「衝突過程とダストのサイズ分布」
- 17:15–17:30 休憩
- 17:30–18:30 ポスターセッション

8 月 2 日（土）

- 9:00– 9:30 本田 充彦 「Herbig Ae 型星 HD169142 円盤の多波長観測状況」
- 9:30–10:00 橋本 淳 「採択された提案内容についての報告」
- 10:00–10:15 休憩
- 10:15–11:30 実習 2（ヴィジビリティを用いたデータ解析）
- 11:30–13:00 昼食
- 13:00–15:00 実習 2（ヴィジビリティを用いたデータ解析）

ポスター講演（6件）（五十音順）

- 金川 和弘 「惑星が作る原始惑星系円盤ギャップの深さと幅について」
高橋 実道 「ガス-ダスト間摩擦と自己重力による原始惑星系円盤のリング構造形成機構」
竹内 拓 「円盤デッドゾーンの構造について」
田崎 亮 「原始惑星系円盤における高空隙率ダストの散乱・吸収断面積」
田中 今日子 「木星形成後の微惑星衝撃波による物質進化」
野村 英子 「HD100546 周囲の原始惑星系円盤の ALMA 観測：ガス・ダスト分布と伴星候補天体への示唆」